



## 新年のご挨拶；中央地区里親会 会長 太田 正一

新年あけましておめでとうございます。

会長の任を拝して三回目のお正月を迎えました。昨年も冬の宿泊研修や後志の研修会をはじめ、ミナミナ会、育みの会など各地域で開かれている里親サロンに出席するなど、振り返ればあちらこちらを走り回る忙しい一年でした。今年もよろしく願いいたします。

また、昨年から中央児童相談所のご協力を得て、同所で開催された「養育里親認定研修」の折に時間をいただき、里親会の概要や活動の意義についての紹介と説明、そして先輩里親としての体験などをお話し、新規里親として登録されたらぜひ里親会に入会されることをお願いしてきました。合わせて退会された里親さんの再入会も働きかけるなど、一人でも多くの里親が里親会に参加されるよう、機会あるごとにお願いをしていこうと思っておりますので、ご支援くださいますようお願いいたします。

また、今年は北海道里親研修大会・全国里親会北海道地区里親研修大会が9月5、6日に北広島市で開催されます。その運営には私たち中央地区里親会と中央児童相談所が中心となってあたることになっておりますので、会員の皆さま全員の知恵と力をお貸しくださるようお願い申し上げて、新年のご挨拶といたします。



## お知らせ；クリスマス・プレゼントを贈りました

毎年の恒例となっていますが、養育里親さんのもとで暮らしている子どもさん達に、中央地区里親会からささやかなクリスマス・プレゼントとして図書カードを贈りました。

中央児童相談所から提供を受けた11月1日の時点での養育状況に拠っていますので、それ以後に委託された子どもさんには送られていませんが、ご了解をお願いいたします。もし間違いがありましたら、事務局までご連絡をくださるよう、お願いいたします。



## お知らせ；ランドセルの寄贈について



昨年に引き続いて「株式会社セイバン」様から女の子用のランドセルが寄贈されることになり、北海道里親会連合会事務局から該当者の報告をするよう依頼を受けました。残念ながら中央地区里親会の会員に委託中で、来春にぴかぴかの一年生になる予定の女の子はいませんでした。来年は男の子のランドセルも寄贈されるように要望を出したいと考えておりますが、せっかくのご厚志に対する注文はちょっと失礼かな？と気になるところでもあります。

## お知らせ；中央地区里親会報「わらび」第38号をお届けします

今年度も多くの会員と関係機関の皆さまのご協力とご支援をいただき、会報「わらび」第38号を発行することが出来ました。事務局からの依頼に応じて、お忙しい中でご執筆くださった方々に感謝いたします。とりわけ、新しい試みとして高校1、2年生の生徒さんを中心に「私の夢、私の思い」と題して、日ごろ考えていることや将来に向けての夢などについて自由に書いていただきました。原稿を寄せていただいた生徒さんには、図書カードをお礼として贈りました。読まれた感想や、会報に対するご意見などをメールや郵便などで送っていただくと編集の励みになります。

あなたの笑顔が見たいから

中央地区里親会



## 情報：平成26年度 JX-ENEOS奨学助成について

社会福祉法人 全国社会福祉協議会による J X- E N E O S 奨学助成が今年度も実施されます。その目的は、児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭に生活する児童等が、高校卒業後に大学、短大、専門学校等への進学を希望する場合に、支度費等の一部を助成することによって進学を金銭面から援助し、もって社会的自立を支援することにあります。



- 対象者：高校卒業後、平成27年度に大学、短期大学、専門学校等への進学を予定している①児童養護施設に入所している児童、または退所した20歳未満の方、②母子生活支援施設に入所している児童、または退所した20歳未満の方、③里親家庭に措置されている児童、または措置解除後に引き続いて里親家庭で同居している20歳未満の方。
- 助成金額：一人あたり10万円（返済義務無し）
- 申請方法：里親家庭の場合は里親が申請者となります（児童本人の申請は出来ません）。
- 申請書提出締めきり：平成27年2月27日（金）、消印有効
- 選考・助成方法：主催者が設置する審査委員会が申請書類に基づいて審査し、助成の可否を決定し、3月下旬ころ郵送で通知し、銀行口座へ送金。
- 申請書の提出先：申請者が里親の場合は、公益財団法人 全国里親会
- 実施要項および申請書は、該当する児童が措置されている中央地区里親会の会員に事務局から送ります。ご質問などありましたら事務局にお問い合わせください。

## 依頼：厚生労働省に対する要望について

全国里親会は毎年、里親制度の充実・改善に関して会員からの要望を取りまとめて、厚生労働省に対して要望書を提出しています。今年度も北海道里親会連合会事務局を通して、里親制度の改善などについてどのような要望があるか、広く里親会員から要望を募るよう依頼されました。



要望書は国の予算編成作業が始まる前の5月に提出する予定ですが、各里親会やブロック里親会で検討し取りまとめて、2月末までに全国里親会に提出することを求められています。

既に制度化されているけれども、地方によっては徹底されていない事項（例：パスポートの取得、必要な手術に対する実親の承諾など）についても要望として提出し、改善の余地がないかについて検討しますので、そのような例がありましたらお寄せください。

中央地区里親会として、会員の要望や意見を取りまとめて道里連に提出しますので、1月25日（日）までに事務局へメールやファックスなどでお送りください。

なお、参考として昨年の5月に提出した「平成26年度里親関係要望書」を別紙に示します。

## 参考資料：はぐくむ一子育て王国の今（番外編）

鳥取県では関係機関が連携を図り、委託率や里親登録数を伸ばしていますが、一般的な認知度はまだまだであるということです。鳥取県を中心に、鳥根県東部と兵庫県但馬地方を主要な配布地域とする地方紙である日本海新聞は昨年、連載「はぐくむ一子育て王国の今」と題して第1部から6部までの特集を組みました。さらにその番外編として里親制度の今を追った記事を掲載しました。参考になることが多い内容ですので、別紙で紹介しますのでご一読ください。